

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

体力向上～運動好きな子どもの育成～

＜本年度の学力向上策＞

- 1 児童の実態を捉え、分析し、児童の実態にあった研究の方向性を見出す。
 - ・体力テストの結果分析
 - ・児童アンケートの実施・分析
- 2 本校の体育科授業のスタンダードを確立し、児童が見通しをもって進んで運動に親しめる授業を展開する。
 - ・授業の進め方の統一
 - ・主運動につながるパワーアップタイムの工夫
 - ・運動量を確保し、児童が活発に活動できる場の工夫
- 3 運動朝会・業間運動等体力向上の取り組みを推進し、児童が運動に親しむ環境を整える。
 - ・自校体操やなぎっ子 steps の実践（授業の準備体操、運動朝会、様々な体育行事の準備体操として）
 - ・にぎなげ体操の実施（朝の会で）
 - ・逆上がりキャンペーン、投力アップキャンペーンの実施（業間運動）
- 4 体力向上を目指した授業改善・教員の授業力の向上
 - ・学年間の系統的な学習内容の工夫
 - ・教員が互いに見合う研究授業、公開授業の実施

＜本年度の振り返り＞

- 1 児童アンケートの結果をもとに授業を組み立て授業実践に取り組んだことにより、91%の児童が「体育が好き」と肯定的に回答し、意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。
- 2 体育科授業を統一の流れ（片柳スタンダード）で展開することで、児童が安心して活動し、見通しをもって取り組めるようになった。
- 3 自校体操や業前の運動を継続して行うことで、新体力テストにおいて昨年度よりも多くの項目で体力の向上が見られた。
 - ・業間に大縄チャレンジや各運動を重点的に行うキャンペーンを計画することで、児童が休み時間自発的に外遊びに取り組むようになった。
 - ・50m走や上体おこしについては課題が見られるため、現在の取り組みに苦手な部分をどう取り入れていくか、検討していく。
- 4 全学級担任が年1回の研究授業・公開授業を行い、教員同士が互いに見合うことで、日々の授業内容の改善や工夫を図ることができた。
 - ・全ての教員が同じように授業に取り組める研修のあり方を考えていく必要がある。